

## 中学生平和体験 広島研修報告

# 核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現に向けて！



町内の中学  
2年生6名を  
代表とする「中  
学生平和体験  
広島研修」を  
この8月8日  
から10日まで  
実施しました。

研修では、被爆者による被爆体験講和やボランティアの方の解説による広島平和記念資料館・平和記念公園内の慰霊碑・原爆ドーム等の見学・体験学習を行いました。  
被爆から60年が経過し、戦争や被爆体験を次の時代を担う若い世代に正しく継承し、平和意識の高揚を図ることが大きな課題となっています。  
今後は、学校での報告会等を実施します。



校 柱  
学 組  
中 年 A  
南 2 年 A  
エ ン ジ エ ル

### 広島平和での感想

ほくは、今回広島に行かせてもらい、たくさんのことを学びました。そして、いろいろなことについて思い、考えました。その中から2つ書きます。

1つ目は原爆ドームについてです。僕たちは、最初広島駅から平和記念資料館に行きました。その時、ほんの一瞬原爆ドームが見えました。原爆ドームを見た人が失神した

こともあると聞いたことがあったけど、本当にほくも強烈なもの胸に残りました。そして、やっぱり少しでも多くの人にこういう物を見てもらって、この悲惨さを知ってもらわなければいけないと思いました。

2つ目は、原爆などのむごさを多くの人に伝えるということなんです。記念館では、被爆者の話を聞いたりしました。でも、今、被爆者や戦争を体験した人は少なくなっています。だから次は、こういう人たちが僕たちに伝えてくれたことを次の世代へ伝えていかなければならないと思いました。



校 菜 摘 美  
学 組  
中 年 B  
南 2 年 B  
平 出 菜 摘 美

### 広島平和体験研修

私は、今回の平和体験学習を通じて学んだ事が2つあります。

まず1つ目は、あたり前ですが、やっぱり核は怖いということなんです。1日目に大林さんの話をきいたのですが、被爆後の広島町の町や人々の様子本当に怖かったです。人が木かわからないくらい焼け焦げてしまった人。肉が溶けてたれさがっている人。想像するだけで鳥肌がたちます。

2つ目は、私達から世界に伝えていかなければならないという事です。日本は世界で初めて原爆を落された国です。そして、今のところ日本以外の国には落ちていません。日本に原爆が落ちたとき、とても大変だったのに、今でも世界には核があります。私は、その核をなくす為に核の恐ろしさむごさを世界に伝えていかなければならないのです。機会をみつけて非核平和をみんなに伝えていきたいです。



原爆ドーム前にて



校 泉  
学 組  
中 年 1  
富 士 見 高 原 中 学 校  
2 年 1 組  
小 平 泉

### 平和体験学習 〜広島で学んだこと〜

私たちは、8月8日、9日、10日と平和体験学習として、高原中2年の代表として、広島に行きました。

被爆体験者の大林さんにお話を聞く事ができました。広島に原子爆弾が落とされた日、8月6日は雲一つない青い空、みんなの笑顔があったのに、

8時15分を境に青い空は真っ暗に、人々の笑顔は消えました。私は大林さんのお話を聞いて学んだことは核兵器というのは人の命だけではなく、平和までも奪ってしまうものだという事です。私は、平和は作るものではないと思います。全国、世界の人々が笑顔であること、それ以上に地球上から核兵器がなくなることを願うまでです。

今回の体験で、私は平和について深く考えられるようになりました。行かなければ得られなかった事を学べた、いい平和体験でした。